

平成27年度美唄市議会報告会における「市政に対する意見・要望」

① 財政関係

No.	意見・要望	回答
1	健全化計画が平成27年度で終わってもその後が不安。40億円の負債のうち7割を人件費で補っているのは問題点だ。平成28年度以降引続き計画を何か考えているのか。	財政健全化計画については、平成27年度に達成する見込みですが、将来を見据えた健全な財政運営を実現するため、今後5年間の中期財政運営基本方針（期間：平成28年～32年）を策定することとしております。

② 病院・医療関係

No.	意見・要望	回答
2	当初、市立病院を平成29年度までに建てかえるということだったが、いつ建つのかわからない。市民は、平成28年に着工、平成29年に新病院ができると思っている。プランが変更になったのなら市民に知らせるべきではないか。	国では医療・介護改革の動きなどがあり、医療に関しては、すべての公立病院が改革プランをつくり北海道地域医療構想との整合性を図ることとされています。このため、市立病院整備にあたっては、病床機能や病床数のあり方や病院改革の見通しなど国や北海道との協議を要しますので、美唄市地域医療再構築プランで示した「最短で平成28年度中の着工」は遅れ、見直しが必要となります。このことについては、自治組織代表者会議およびまちづくり地区懇談会で説明いたしましたでしたが、整備スケジュールが決まりましたらお知らせします。
3	市立病院の患者はなぜ少ないのか。また、医師確保についてはどう考えているのか。	現在、当院の患者数はここ2年続けて増加しているものの、経営健全化計画よりは下回っているところです。計画で想定していた医師数を確保できていないことが、その大きな理由です。 医師確保については、美唄市の地域医療体制を確保するための最重要課題と考えており、大学医局への要請をはじめ、民間医師派遣会社や人脈を通じた招聘活動に取り組み、平成25年度に外科医師1名、平成26年度に内科医師1名をそれぞれ新たに採用しているところです。 美唄市の地域医療提供体制を確保するため、今後とも引き続き医師確保に力を入れ、取り組んでまいります。
4	市立病院職員と患者との信頼関係は重要であるが、患者や家族を、お客様として見ていない職員の接遇には疑問である。	患者さまとの信頼関係は、病院にとって重要なことと考えております。 院内の接遇研修につきましても随時実施しているところですが、一部の職員に、配慮に欠けた接し方が見られることがあり、その都度指導を行っているところです。 患者さまやご家族に、接遇をはじめ病院運営に関するさまざまなご意見をいただくため、この4月から院内ロビーに「ご意見箱」を設置し、回答についても院内掲示をすることとしております。 今後も、より良い病院をめざし、患者さまやご家族のご意見をしっかりと受け止めてまいりたいと考えております。

平成27年度美唄市議会報告会における「市政に対する意見・要望」

② 病院・医療関係

No.	意見・要望	回答
5	市立病院について、施設の老朽化、経営の実質的な赤字等負担が大きいのではないかと。サービスの向上や院内処方の検討、病院自体の廃止などを含め議論してほしい。	<p>市立病院については、古い棟で築50年が経過しており、施設の老朽化が進んでおります。経営については、過去の不良債務解消のために市から繰入れを受け、経営健全化計画については平成27年度末をもって終了見込みとなっております。</p> <p>なお、単年度の経営状況については昨年度も経常収支黒字を達成し、現在新たな不良債務は生じていないところです。</p> <p>院内処方については、薬剤師の確保が困難であることなどから現時点では難しいものと考えておりますが、サービスの向上につきましては、患者さまやご家族の意見をいただきながら今後も改善に努めてまいります。</p> <p>市立病院のあり方については、平成23年に医師会をはじめ市内の医療機関の代表者を委員として設置された「美唄市地域医療提供体制の在り方検討委員会」において議論されており、その後、市は美唄市の基幹的病院としての役割は市立美唄病院が担うこととした「美唄市地域医療提供体制ビジョン」を策定したところです。</p> <p>市立病院が市内で唯一の救急指定病院であること、人工透析医療を行えるのも市内で市立病院だけであることなどから、市立病院の廃止は美唄市の地域医療体制の確保に大きな影響があるものと考えており、健全経営を維持しながら今後とも必要な医療を提供してまいりたいと考えております。</p>
6	高齢化が進み、介護や医療が身近なものとなっている。施設の充実を図ってほしい。	市民の皆様が住みなれた地域で安心して生活できるよう、医療と保健・福祉・介護の連携に向けた取り組みを進めます。また、市立美唄病院は施設の規模・機能を再編し建て替え整備を進めます。
7	恵風園は入居率が7割で空室があるが、満室にしないのは、職員の負担が増加し、職員数を増やさなければならないからなのか。または、入居希望者が少ないからなのか。	<p>恵風園は養護老人ホームですので、措置権者（首長）により措置決定された人が入所する施設で、経費についても入所者から収入に応じた負担金はいただきますが、基本的には措置権者が負担をします。措置に当たってはなるべく地元の恵風園に入所していただくようにはしていますが、バリアフリーでないため身体状況により他市の施設に入所する方が増えている実態や、子どもさんのいる市町村を希望されれば措置権者として拒否できない状況もあります。従いまして、希望者が誰でも入れる施設ではありませんが、美唄市民限定の施設でもありませんので、他市からの受け入れも増やせるよう施設や人員を整え、周辺市町村へ周知していくことも検討する必要があります。</p>

③ ごみ処理関係

No.	意見・要望	回答
8	農村地区における生ごみの収集は週1回しかないため、夏場は増やしてほしいし、改善をお願いしたい。	収集回数の増加は、収集経費の増加につながるため、生ごみの保管方法等を工夫して頂くよう、お願いをしているところでありますが、今後、収集回数の増について、収集業者と収集ルートの見直し、収集方法及び経費も含め検討してまいります。
9	9/11の午後2時から、生ごみ堆肥の無料配布を行ったが、午後1時から整理券を発券していた。これについては、十分周知されておらず、怒っている人もかなりいたが、どうなっているのか。	当日の無料配布については、先着300名としており、1時30分の時点でかなりの人数が来られ、並んでいただいても配布できない状況が推測され、ご迷惑をおかけすることとなり、また、混乱が生じる恐れもあったことから、整理券を配布したものであり、何卒、ご理解を頂きたいと存じます。

平成27年度美唄市議会報告会における「市政に対する意見・要望」

④ 除排雪関係

No.	意見・要望	回答
10	冬期間における除排雪体制に対して、市内市道における未利用箇所についても除排雪が行われていることがあるが、経費削減を図る上でも、巡回して検討すべきでは。	除排雪路線につきましては、現地調査等により不要な路線を考慮し実施しているところでありますが、さらに調査・検討を行い経費削減に努めてまいります。

⑤ 市民サービス関係

No.	意見・要望	回答
11	市民バスは自由乗降になったが、病院代よりタクシー代が高くて困っている。5年の後期計画を立てると思うが、前期5年の検証をしてもらいたい。	本市では、平成23年から美唄市地域公共交通総合連携計画に基づき、市内の公共交通に関する事業を行ってきたところであり、その主なものとしては市民バス東線の循環方式への変更、郊外部を対象とした乗合いタクシーの実施となっております。これらの事業については、概ね計画どおり実施できているところで、現在策定中の計画においても、一部見直しをしながら実施していくこととしております。また、タクシー料金については、乗合いタクシーについては、市街地では実施していないことから、ご了承頂きますとともに、市民バスの利用も、ご検討頂きますようお願いいたします。
12	乗合いタクシーの市の助成はいくらか。利用者が直接現金で支払うのではなく、チケット制にすれば乗った実数がかかるのでは。個人とタクシー会社だと料金に疑問を感じる。	乗合いタクシーの助成額については、平成26年度総額で約420万円となっております。乗合いタクシーの利用については、事前に登録して頂く予約制となっており、各タクシー会社から毎月、人数等の報告を頂いていることから、実数の把握はできているところです。また、チケット制についてですが、チケット制にすることにより、チケットが無くなった場合の購入等の手間や、料金を改定した際、利用されている方やタクシー会社などに事務的な手続きが生じ、ご負担をおかけすることが考えられることから、現状、導入については考えておりません。

⑥ 都市整備関係

No.	意見・要望	回答
13	サイクリングロードを閉鎖しているが、利用者が少ないからといって、そのままいいのか。 また、貸出用自転車についてはどうなっているのか。	これまでサイクリングロードは、生涯学習課の職員が毎年、シーズン前に清掃を行ってききましたが、路面の老朽化により亀裂や段差が生じており、特にコースの大半が林間にあるため、樹木の根や雑草による路盤の崩壊も進行しています。 また、シーズン中には、雨水等による土砂の流入や落葉の堆積などに対し清掃を十分に行えない状況であり、さらにここ数年は、コース上やその周辺にヒグマの出没が相次ぎ、利用を制限する期間も生じており、特に今年は、ヒグマが周辺を含め春先から出没したことから閉鎖期間が長期にわたりました。 このため、サイクリングロードとしてシーズンを通した安全な利用の確保や定期的な路面清掃などの整備も困難な状況ではありますが、近年のサイクリングブームは一般道路の舗装や拡幅などの整備も進んでいることから、そのスタイルが長距離・広域化するなど、サイクリングの楽しみ方に変化も生じています。 これらのことから、同コースを今後もサイクリングロードとして使用することの適否を検討する時期に来ているものと考えておりますので、早い時期に結論を出したいと考えています。 なお、貸し出し用自転車については、東明公園内サンスポーツランド美唄の管理棟で貸し出しの取り扱いを行っています。

平成27年度美唄市議会報告会における「市政に対する意見・要望」

⑥ 都市整備関係

No.	意見・要望	回答
14	街路灯のLED電球の寿命は、約10年と言われているが、雪や雹などで破損した場合、市で設置費を負担してもらえないのか。	街路灯の設置補助につきましては、経年劣化や気象条件などにより破損し更新が必要となった場合は、街路灯補助金交付規則に基づき補助を実施しておりますが、修理費用については補助対象外であるため施設管理者（自治会等）の予算で実施をお願いします。
15	落合の沢の上には、60年以上前に使用していた旧ダム（貯水槽）が2つある。山の上にはポンプ場、小屋もあり、市の職員がいて管理していたが、現在は、ヘドロと草で存在が分からない状態になっている。最近、天候の急変など、ゲリラ豪雨になる時があるので、その部分が破壊されたら、住宅に土砂が入り込むのではないかと。沢のすぐ下に住民がいる為、危険か安全か回答が欲しい。生活館も避難所になっているが、砂防など行なう必要はないのか。	北海道が管理している河川の上流に、昭和37年に三井鉱山から移管された水道施設であるダムがあり、現在水道課で維持管理をしているところです。 状況につきましては、毎年ダム及び管理道路の草刈を行い、又ダム管理規定により25mm以上の雨が降った時には職員が巡視し、定期的に点検するなど維持管理に努めております。 また、川としての水路を確保するなど現在北海道と協議を進めているところであり、これからも水道課でダムの維持管理を行います。 全国で話題となっている異常な大雨（ゲリラ豪雨）に対する対応等につきましては防災部局と連携を取りながら検討すべきことと考えております。
16	入初橋の測量を行っていたが、測量士に聞いたところ、補修か架け替えを調査しているとの事だったがどうか。落合橋と入初橋の耐久性は大丈夫なのか。	市では、老朽している橋梁を修繕する計画をしており、落合橋・入初橋についても修繕を行うための調査を実施したところであります。 今後、修繕を行います。点検を行って安全を確認しております。
17	中村地区について、国営、道営事業が進んでいるため、用水の流水速度が速くなっている。水害等の対策のため機場及び排水路の整備を進めてほしい。	現在、国では基幹排水施設の長寿命化を図るため、今年度より広域基盤整備計画策定の現地調査（ホロウ幹線排水路の豊年橋附近に流量計を設置）を実施しているところであり、この整備計画に地域の要望や施設の課題が盛り込まれる整備計画となるよう、国に対し施設の維持管理や老朽・破損状況を基に協議を進めているところであります。 今後は早期に事業採択を受け、国営事業着手に向け、働きかけをしてまいります。
18	まちづくりについて、美唄市の国道12号線は直線道路があるだけにバイパス道路ができない。災害や事故などのフォローとして迂回路を作る必要があり、美唄川に橋を架けてバイパス道路を作ってはどうか。	災害や事故などのフォローとして、美唄川に橋梁を新設しバイパス道路を建設することですが、道路及び橋梁の建設には膨大な費用が必要となることから、真に必要な費用効果があるのかなど十分な検討が必要となります。 市では現在管理している橋梁の補修に取り組む計画であるため、バイパス道路の建設は難しい状況であります。
19	茶志内福祉会館は、大規模災害などがあった際の避難所になっているが、街路灯が切れている。 また、市道西3線入口付近に街路灯がないので設置してもらいたい。	本街路灯については、地域福祉会館の設備として整備されたものではなく、また以前から送電停止となっていると北電から伺っております。 会館の利用者については、自動車でお越しになり玄関先に玄関灯がついていることから会館として対応しないものであります。 茶志内福祉会館の通路と市道西3線の交差点への街路灯新設につきましては、市が道路施設として設置・管理するものではありません。 主に交通安全を目的として市道交差点に設置しておりますので、設置は難しいところであります。 なお、自治会等が設置する場合の補助制度がありますので検討願います。

平成27年度美唄市議会報告会における「市政に対する意見・要望」

⑦ その他

No.	意見・要望	回答
20	<p>高齢化が進む東明地区の空き家、空き地、道路脇、河川部、街路灯まわり等の草刈りなど環境整備をしてほしい。</p>	<p>道路・河川・街路灯廻りの草刈につきましては、自治会等（道路・河川愛護組合）及び直営において一部実施しております。 尚、道路、河川の維持管理を適切に行うよう努めてまいります。 空き家につきましては、所有者が自己の責任において管理することが原則と考えております。管理不全な空き家の現地調査を行い所有者を調査し、適正な管理をいただくよう指導してまいります。</p>
21	<p>人口減少に伴って、コンパクトシティ化を行なうのはわかるが、10年前と今とでは、全く状況が違う。美唄における東明地区の位置づけはどうか。</p>	<p>今後、急激な人口減と高齢化が見込まれることから、福祉や交通などを含め、安心できる市民生活を実現していくためには、市の財政面や経済面において持続可能な市の経営が大きな課題となります。このことから、全庁的な組織により取り組んでいかなければならない重要な課題と認識しています。 コンパクトシティ化に対する東明地区を含め市内各地域の方針については、現在のところ決定しておりませんが、市民の皆さんの意見をお聞きしながら、検討しなければならないと考えております。</p>
22	<p>人口を減らさない為、いかに地元で働いて貰うか、地場産業（農業）の育成をどうしていくか、市は真剣に考えて欲しい。</p>	<p>南空知地域雇用対策協議会が行う各種就職セミナーを通じ、新規高校卒業者等の就職を促進するとともに、市内企業等の協力のもと、求人側と求職者のニーズのミスマッチ解消を図るため、説明会の開催やインターシップを推進します。 人口を減らさないためには、雇用の場を確保する事が重要です。今年4月にコールセンターが茶志内にあるハイテクセンターに入居し、また、西美唄小学校跡地も健康食品関連の企業が来年4月から操業を開始する計画となっており、今後もこうした企業の誘致に力を注いで参りたいと考えております。 人口減少による農村地帯の活力低下は、農業・農村の維持が困難になるという課題を招きます。本市の基幹産業である農業を将来にわたり持続可能な産業とするには、将来の担い手の確保が必要であり、農家子弟はもちろん、新規参入者など多様な人材を育成・確保する取組みを進め、農村地帯を維持することが重要と考えております。</p>
23	<p>道道美唄富良野線はダンプが多く走ると威圧感がある。40キロ制限にしてもらわないと困る。</p>	<p>速度制限については、警察や公安委員会との協議が必要であります。騒音や事故等の危険性についての地域要望があれば、関係機関との協議を行っていくことは可能であります。</p>
24	<p>地方創生について、どのまちも同じような政策を出している。人の取り合いになり、国内からだけでなく、外国人にも来て貰う必要があると考えるが、どれだけ美唄に魅力があるのかわからない。</p>	<p>地方創生交付金を活用し、台湾やタイで開催される国際博覧会等において、本市の魅力ある食と観光のプロモーション事業を実施し、観光客の増加に繋げてまいります。</p>
25	<p>道道美唄富良野線について、道路ありきで、目的がよくわからない。アンケートが来たがどう書いていいかわからない。</p>	<p>道道美唄富良野線は、美唄市、芦別市、富良野市を結び、国道12号、国道452号、国道38号を連結する路線であり、この道路の完成により、道央と道東方面との連結が可能となり、空知地域の経済の活性化、交流人口の増加などが見込まれ、平成22年度から北海道により整備が進められているところであり、関係自治体並びに周辺地域住民も早期完成を熱望していることから、市といたしましては、一層の整備促進が成されるよう引き続き要望してまいります。 また、アンケートにつきましては、美唄青年会議所が、道道美唄富良野線の開通をきっかけとした、今後のまちづくりについて、市民の皆様のご意見を伺うためのものと聞いておりますので、率直な意見を述べていただければと思います。 (8月末でアンケート受け付けは終了)</p>

平成27年度美唄市議会報告会における「市政に対する意見・要望」

⑦ その他

No.	意見・要望	回答
26	<p>南美唄地区の道路、空き家は酷い。いつになったらよくなるのか。</p>	<p>南美唄地区の道路であります。簡易舗装による整備であるため、路盤はほとんど無い状態です。また、同じような状況になっている道路整備の要望が市内各地域より多数ある現状であることから、早急な改修は出来ない状況であります。</p> <p>融雪時期の土のうによる段差解消や、舗装補修を行うなど維持管理に努めてまいります。</p> <p>空き家につきましては、所有者が自己の責任において管理することが原則と考えております。</p> <p>管理不全な空き家の現地調査を行い所有者を調査し、適正な管理をいただくよう指導してまいります。</p> <p>空き家につきましては、所有者が自己の責任において管理することが原則と考えております。管理不全な空き家の現地調査を行い所有者を調査し、適正な管理をいただくよう指導してまいります。</p>
27	<p>美唄尚栄高校の総合学科の内容と実態はどうなっているのか。</p>	<p>美唄尚栄高校は、現在5つの系列の総合学科となっており、内容は文理教養系列、フード系列、メカトロエンジニア系列、情報通信マネジメント系列、デザイン系列となっています。主に2年次から系列を目安にしなが希望進路と卒業要件の両方を満たすような科目選択を行い、進路に関わる様々な能力を身につけることを目標とした学習内容となっています。総合学科の一番の特徴は、当初に工業系列を選択したとしても、その後自分の将来を見直し、途中で商業系列に変更するなどの学び直しが出来るところが工業高校等の専門高校とは大きく違う特徴となっています。進路状況といたしまして、平成26年度は約6割が大学や専門学校へ進学し、約4割が就職している状況です。</p>
28	<p>国保料が引き上げられているが、このまま年々引き上げられていくのか。</p>	<p>国の改正に合わせて、課税限度額を改正しています。</p> <p>国保制度の財源は国や道などの公費による負担と、加入者から納めていただく国保税によって支えられています。</p> <p>高齢化の進展や医療技術の高度化などを受け、1人当たりの医療費は年々増加し、厳しい経済状況や被保険者の減少などから国保税収入は年々減少している状況となっています。</p>
29	<p>生ごみ堆肥化に伴い、農村地域にカラスの被害が発生している。対策を講じてほしい。あわせてマガン対策も講じてほしい。</p>	<p>市のカラス対策としては、北海道猟友会美唄支部に銃器による捕獲業務の委託を行っておりますが、周辺環境や事故防止のため、捕獲場所がエコの丘周辺に限定され、農村地域では難しい状況となっております。今後も、銃器の使用が可能な地域での捕獲を継続するとともに、農業被害の状況の確認と対策の検討を行ってまいりたいと考えております。</p> <p>マガン対策については、防除資材（ポール、鳥追いテープ）を貸与で対応しております。効果が薄れてのではとの指摘もあり、他の防除資材試験も行っておりますが、引き続きポール等の貸与資材による防除もお願いしたいと考えております。</p>
30	<p>都会に住む年配者に視点をあて、地方に来てもらう制度を考え、美唄に来てもらったらどうか。老後や独居となり大変になったら優先して老人ホームや介護施設に入居できるようサービスをしてはどうか。</p>	<p>都会に住む年配の方に美唄に移住してもらうことについては、極めて有効な手段と認識しておりますが、地域包括ケアシステムの構築やコンパクトシティなどの推進を図ることが、極めて重要な課題であることから、関係機関等と検討してまいります。</p>

平成27年度美唄市議会報告会における「市政に対する意見・要望」

⑦ その他

No.	意見・要望	回答
31	日東福祉会館も避難場所ですが、毛布など緊急用品が無いので各会館で保管をしては。	現在小中学校を中心に毛布、ポータブル石油ストーブ、非常食などを保管いただいているところで、また幹線道路沿いにある母町地区から遠い福祉会館や集会所の避難所にも毛布などを保管いただいております。その他の避難所においても今後、地元と資機材保管について協議してまいりたいと考えております。
32	メロディー10月号の市民アンケートの結果では、交通の便について6割が大丈夫としているが、街と郊外では違うので何とかならないのか。(日東地区)	従前までは、市民バスを運行しておりましたが、自宅からバス停までの距離が遠いなどのご不便をおかけしていたことなどから、現在の乗合いタクシーにて対応させて頂いているものであり、何卒、ご理解を頂きたいと存じます。
33	市民会館の建て替えの話が出ていたが、役所の建て替えや耐震対策は。	市庁舎については、耐震診断結果を行った結果、「大地震時に倒壊する危険性が高く、耐震補強が必要であるが、執務室の面積が狭くなり庁舎機能を果たせないことが想定され、また、災害対策拠点として使用できるかは疑問である。」とされました。耐震改修には多額の費用がかかることなどから、改修は行わず将来建て替えることを考えております。この間に万が一、大地震が発生した場合、どのように災害対策を行うのか検討してまいります。
34	選挙での投票所の立会人の役割は。	投票立会人は、投票手続きにおいて投票管理者の事務執行に必要な補助を行うとともに、投票事務の公平を確保するために投票事務に立ち会う重要な役割を果たしており、各投票区の選挙人の中から選任することになっています。
35	空き家の落雪で、道路が塞がり通れなくなる事もあるが、その場合どの様に対応したらよいか。	倒壊や落雪など危険のある空き家につきましては、現地調査の上所有者を調査し適正な管理をいただくよう指導してまいります。
36	まちづくり地区懇談会は、大半が説明で質問の時間がない。要点をしぼるなど、しっかり対応してほしい。	まちづくり地区懇談会の開催方法について、できるだけ簡潔でわかりやすい説明に努めるとともに、意見交換の時間が多くとれるよう工夫してまいります。
37	大筋合意後のTPPの影響について、市はどのように考えているのか。	TPPの大筋合意による市への影響については、基幹産業の農業への影響が考えられますが、現在、北海道において、具体的な影響予測の判断指標について検討していることから、本市の農業に関する影響予測につきましては、今後示される北海道の判断指標を基に判断してまいりたいと考えております。
38	美唄工業高校跡地に公営住宅を建てると聞いているが、市の財政も厳しいので、全体のバランスを考えて対応すべきではないか。	旧美唄工業高校の跡地に公営住宅を建てることについては、将来を見据え健全な財政運営を実現するために、事業の「選択と集中」を図りながら、必要な財源も含め、検討してまいります。
39	観光ルートの形成について、東明公園や郷土史料館の隕石、宮島沼などの観光資源を活用してはどうか。	アルテピアッツァ美唄をはじめ、市内に点在する自然・炭鉱遺産等を観光資源として国内外にPRするとともに、郷土史料館に展示されている光珠内隕石についても、SNSなどを活用し情報発信してまいります。